

イギリス～オランダ DFDS フェリー乗船記

近藤貴行

2024 年 7 月に、イギリスのニューカッスルから、オランダのアムステルダムを、DFDS の 1986 年建造プリンセスシーウェーに乗船。

17 時出港、翌 9 時 45 分着の 10 時間 15 分の航海。（時差 1 時間）

① 予約・乗船

DFDS の HP からネット予約。キャビン + 自転車 + 夕食ビュッフェ + 朝食ビュッフェで、計 10 万円。けっこう高い。ただし航空運賃と同じく、早くに予約すれば安くなるだろう。

ターミナルでチェックイン後、出港 2 時間前に乗船。出国審査はなし。

② 車両甲板

後部から乗船、前部から下船。マイカーで満載であり、トラックは少ない。また 4 階 5 階は、アウトサイドキャビンの内側に車両甲板がある。甲板員は、東南アジア系だ。

③ キャビン

海側スマールダブルを選択したが、あまりの狭さに驚いた。

④ レストラン

高級レストランのビストロ、スターバックスの軽食、今回利用したビュッフェレストランがあった。

ビュッフェレストランは、極めて質、量が充実していた。食べ終えた皿はすぐに下げるに来てける、ビュッフェコーナーの皿のまわりが汚れたらすぐにきれいにする。このあたりは、クルーズ客船レベル以上だった。

また、内装もきれいで、とても 1986 年建造とは思えない。

調理スタッフは、東南アジア系。

⑤ バー、ラウンジ

こちらもかなりの充実ぶりだったし、利用客も多い。夜には、バンド演奏があった。

⑥ 免税店

かなり大きい、また出港したらすぐにオープンしていた。

⑦ カジノ

カジノは、スロットマシーンが数台で、ほとんど利用されていなかった。

⑧ 下船

私は自転車での乗船だったが、下船は最終だった。それでも着岸後、1 時間で入国審査を終えた。

最後に

この船は、貨物は少なくマイカー客がほとんどだ。だから日本の

フェリーに比べ、はるかにサービスは上だ。

またキャビンは極めて狭小で寝るだけのスペースで、それ以外のバ

ー、ラウンジを充実させ、巨大な免税店と合わせてお金を落とさ

るという、日本のビジネスモデルとは異なる、北欧のフェリーが

よく理解できた。



